

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	田沢湖病院施設管理業務				
担当課係名	総務管理課	係	作成者	高藤 久晴	
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画の ページ
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備			
	主要施策	地域医療連携の強化			48
予算費目	市立病院事業 会計	款	項	目	
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度		新規 / 継続の区分		
性質区分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等	医療法				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☒ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	住民の生活に不可欠の医療サービスを提供
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	合理的かつ能率的な運営によって経済性を発揮し、最小の経費で最良のサービスを提供
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	合理化、効率化による経費の節減は、サービスの向上ひいては利用者たる住民の福祉の増進に寄与

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
効果	活動指標	施設維持経費の削減	電気料 KW	1,066,014	1,010,652	
		施設維持経費の削減	水道料 m3	4,228	3,184	
	成果指標	施設維持経費の削減	電気料 円	16,724,039	15,738,479	
		施設維持経費の削減	水道料 円	1,002,916	816,562	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			541,717	547,900	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他		120,789	95,409	
		一 般 財 源		420,928	452,491	
	人 件 費 (B)		—	540,875	493,988	
		職 員 数	—	1.5	1.5	
		職 員 平 均 人 件 費	—	9,834	10,081	
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,082,592	1,041,888	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	33,949	33,186	

【事務事業の今までの成果】

電気使用量で 5.2 ポイント、金額にして 5.9 ポイントの削減
 上水道では使用量 24.7 ポイント、金額では 18.6 ポイントの削減
 下水道では使用量 20 ポイント、金額では 21 ポイントの削減

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	医療費抑制、医師不足、医師の偏在化による地域医療の崩壊
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	救急車での搬送を可能とする救急医療体制の復活

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	病院施設管理業務において各種機器のメンテナンスは民間で行なっている。 施設管理について民間委託できる業務があると考えられる。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

病院施設管理業務全体を民間委託する方法も検討する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	契約更新に際して、委託業務の内容を精査し業務内容の検討や新規の業務委託の検討が必要と考える。

一次評価診断図

